

「産学連携による実践型人材育成事業—ものづくり技術者育成—」 事後評価報告書 (案)

機 関 名 : ○○○○大学・高等専門学校 ← 大学・高等専門学校名を記入して下さい。

プロジェクト名称 : ○○○○ ← 各大学・高等専門学校のプログラム名を記入して下さい。

取 組 代 表 者 : ○○ ○○ ← 申請時の取組代表者を記入して下さい。(変更した場合は変更後)

取 組 担 当 者 : ○○ ○○ ← 申請時の取組担当者を記入して下さい。(変更した場合は変更後)

I. プロジェクトの概要について

申請時	事業終了後
<p>(平成 19 年度申請時のプロジェクト概要を記載願います。)</p>	<p>(事業終了時の本プロジェクトの概要を、平成 19 年度申請書同様に 200 字以内で記載願います。)</p> <p style="text-align: center;">・ <u>ここに記入した概要を HP で公表します</u></p>
<p>育成する人材像 (想定される 就職先等)</p>	

Ⅱ－i. プロジェクトの実施体制

申請時	事業終了後
<p>(平成19年度申請時の実施計画を記載願います。)</p>	<p>《着目点》</p> <ol style="list-style-type: none">① 教員組織等プロジェクトを効果的に推進する体制を構築したか。② 地域や産業界との間で緊密な連携が図られる実施体制を構築したか。③ 学内関係部局との連携体制は構築したか。④ 取組代表者がリーダーシップを発揮し、プロジェクトの実施において必要なマネジメント体制（運営委員会の設置等）を構築し、機能したか⑤ 教育プログラムは、正規の教育課程あるいはその一部として位置づけたか。

Ⅱ－ⅱ．プロジェクトの内容

申請時	事業終了後
<p>(平成19年度申請時のプロジェクト内容を記載願います。)</p>	<p>《着目点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域や産業界と連携した実験、実習と講義を有機的に組み合わせた実践的なプログラムを開発し、実施できたか。 ② 具体的な教育プログラムの開発及び実施において、地域や産業界と有機的な連携がなされたか。 ③ 企業等の技術者が有するものづくりの知識、ノウハウ等の現場の技術の維持、確保に資する人材を育成する観点から本教育プログラムはどのような効果があったか。 ④ ものづくり分野を革新させる高度な知識及び確かな技術を併せ持ち、ものづくり過程の全体を見渡し技術の目利きをする人材を育成する観点から、本教育プログラムはどのような効果があったか。 ⑤ 「育成する人材像」が明確にされており、学内及び産業界等と共有されていたか。

Ⅱ－iii. プロジェクトの有効性

申請時	事業終了後
<p>(平成19年度申請時の本プロジェクトの有効性を記載願います。)</p>	<p>《着目点》</p> <p>① プロジェクトの成果としてもものづくり分野を革新させる高度な知識及び確かな技術を併せ持ち、ものづくり過程の全体を見渡し技術の目利きをすることができる俯瞰的な人材の育成ができたか</p> <p>〔※ これまでの学生との比較、学生の満足度、採用企業等における評価等を用いて、出来るだけ具体的に記述してください。〕</p> <p>② プロジェクトの内容及び成果等を他大学等へ普及、波及させる事ができたか。</p>

Ⅱ－iv. その他（プロジェクトの評価体制等）

申請時	事業終了後
<p>（平成19年度申請時の評価体制及び委託期間終了後の運営方針を記載願います。）</p>	<p>《着目点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① プロジェクトの評価を実施する体制を整備し、評価したか。 ② 評価結果を教育研究活動の質の向上及び改善に結びつけるシステムを整備し有効に活用できたか。 ③ 補助期間終了後、自立的かつ発展的な運営が行われているか。 ④ 文部科学省からのアドバイス結果を反映させ事業を実施したか。

Ⅲ. 補足資料

i～ivの補足データ		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
ア	本プロジェクトに関与した産業界の企業数	社		社		社	
イ	本プロジェクトに関与した産業界関係者の人数 (実務家教員、非常勤講師等含む)	人		人		人	
ウ	インターンシップ実施協力企業数	社		社		社	
エ	本プロジェクトにおいて開発したプログラム数 (教材等は除く)	件		件		件	
オ	①本プロジェクトの受講学生数、及び	①	人	①	人	①	人
	②当初受講予定学生数	②	人	②	人	②	人
カ	① インターンシップ実施人数、及び	①	人	①	人	①	人
	② 当初インターンシップ実施予定人数	②	人	②	人	②	人
キ	① 本プロジェクト受講者のものづくり企業への就職割合と	①	%	①	%	①	%
	② 基幹となる学科等のものづくり企業への就職割合	②	%	②	%	②	%
ク	① 本プロジェクト受講者のものづくり企業への就職割合と	①	%	①	%	①	%
	② 未受講者のものづくり企業への就職割合	②	%	②	%	②	%

※申請書提出時（予定）と事業実施終了後（実績）の金額を記載願います。

（単位：千円）

ケ. プロジェクトに係る経費等について	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	予定（見込）額	実績額	予定（見込）額	実績額	予定（見込）額	実績額
補助金申請額	15,000	15,000	12,000	12,000	10,000	10,000
自己負担額	1,000	2,000	1,000	2,000	1,000	3,000
補助対象経費総額	16,000	14,000	13,000	12,000	11,000	9,000
補助金確定額		14,000		12,000		9,000
補助金返納額		3,000		2,000		4,000
備品費	4,000	3,000	3,000	3,000	3,000	2,000
旅費	4,000	3,000	3,000	3,000	2,000	1,000
人件費	4,000	4,000	4,000	3,000	3,000	3,000
事業推進費	4,000	4,000	3,000	3,000	3,000	3,000

コ. その他	<p>（本プロジェクトについて、上記項目では、記載出来ない事項等、大学等で伝えておきたい事を自由に記載願います。特段ない場合には記載不要です。）</p>
--------	--